

WEB TOKACHI

十勝毎日新聞社
Obihiro Tokachi Hokkaido Japan

>>> 目次ページに戻る

根をはる大樹
帯広小開校110周年

卒業生たちは
街中の校舎に詰まった思い出

[2006.07.12]

1896年に開校した帯広小学校は、帯広の歴史とともに歩んできた。

4代にわたり

1904年に富山県から移住してきた大和権三郎さん(故人)は、翌年に大和建具家具製作所(現大和木巧、帯広市西24北2)を創業。息子の與一さん(故人)が帯広小に通い、與一さんの息子の與三さん(同)、與三さんの息子で現社長の与志一さん(44)、与志一さんの2男1女の4代にわたって同校を巣立った。



75年卒の与志一さんは「4代続けて帯広小に通えたのも、地域に認めてもらい、この地に根付いて商売ができてきた

帯広小の歩みを見守り続けているカシワの大樹の下に立つ大和与志一さん、悠太君(中央公園、折原徹也撮影)

おかげ」と感慨深げに話す。児童数はひとときに比べ大幅に減った。それでも今春卒業した与志一さんの二男悠太君(12)＝帯広第三中1年＝は「1学年1クラスで少なかったけれど、みんなで鬼ごっこもできたし、すごく楽しかった」と振り返る。